

令和7年（2025）8月
入域観光客数概況（確定版）

107万4,900人
対前年（R6）同月比 +7万1,100人、+7.1%
～8月としては過去最高～

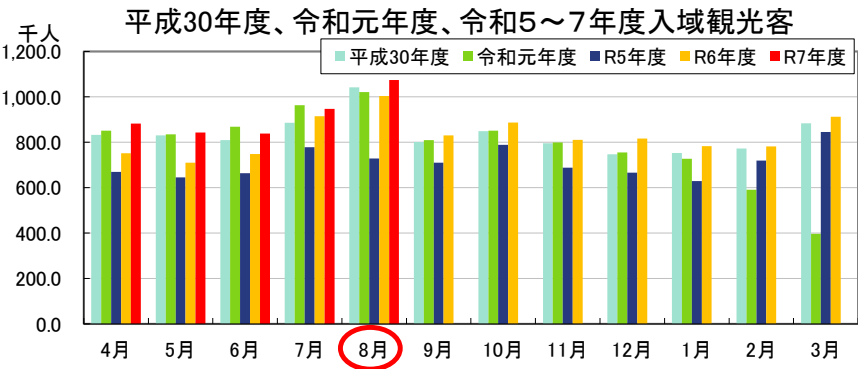
【更新履歴】①令和7年9月25日速報版公表
②令和7年11月25日確定版公表
※ 外国人観光客数の国別の内訳及び確定値については、出入国在留管理庁公表資料を参照しており、同庁公表後に県の公表となります。そのため、11月公表の本確定版において、外国人観光客に係る「入域状況」、「国籍別入域状況」及び「空路・海路の国籍別入域状況」を2枚目に追加しています。

入域状況

入域観光客数（R6年度と※H30年度との比較）

区分	R7年度	R6年度	増減数	増減率	構成比	※H30年度
国内客	783,500 人	768,800 人	+ 14,700 人	+ 1.9%	72.9%	741,500人
空路	780,400 人	766,100 人	+ 14,300 人	+ 1.9%	72.6%	734,400人
海路	3,100 人	2,700 人	+ 400 人	+ 14.8%	0.3%	7,100人
外国客	291,400 人	235,000 人	+ 56,400 人	+ 24.0%	27.1%	300,000人
空路	202,000 人	134,300 人	+ 67,700 人	+ 50.4%	18.8%	165,900人
海路	89,400 人	100,700 人	△ 11,300 人	△ 11.2%	8.3%	134,100人
合計	1,074,900 人	1,003,800 人	+ 71,100 人	+ 7.1%	100.0%	1,041,500人

※外国客には、海路における乗務員等23,100人を含む。



国内客 入域状況

8月は、台風による大きな影響もなく、夏休み期間中の旅行需要に対する航空会社の増便・臨時便があったことから前年同月を上回った。特に、東京・関西・福岡・名古屋方面からの観光客は過去最多を記録し、国内客総数においても過去最多となった。

国内客 地域別入域状況

区分	R7年度	R6年度	増減数	増減率	構成比
東京方面	377,300 人	373,800 人	+ 3,500 人	+ 0.9%	48.2%
関西方面	171,900 人	168,700 人	+ 3,200 人	+ 1.9%	21.9%
福岡方面	99,400 人	94,600 人	+ 4,800 人	+ 5.1%	12.7%
名古屋	70,900 人	67,400 人	+ 3,500 人	+ 5.2%	9.0%
その他	64,000 人	64,300 人	△ 300 人	△ 0.5%	8.2%
合計	783,500 人	768,800 人	+ 14,700 人	+ 1.9%	100.0%

参考: 国内線経由入域外国人数

地域別	R7年度		R6年度		主要国・地域
	人数	シェア	人数	シェア	
北米	26,100	48%	14,500	44%	アメリカ合衆国、カナダ等
ヨーロッパ	14,000	26%	8,600	26%	イギリス、ドイツ、フランス、スイス、イタリア、スペイン、ベルギー、オランダ、ポーランド、オーストリア、チェコ、デンマーク、スウェーデン、ロシア等
アジア	6,000	11%	4,800	14%	中国、香港、台湾、韓国、ASEAN、インド等
オセアニア	1,000	2%	700	2%	オーストラリア、ニュージーランド等
中米・南米	200	0%	200	1%	ブラジル、メキシコ、アルゼンチン等
その他	6,800	13%	4,500	14%	
合計	54,100	100%	33,300	100%	

※航空会社ヒアリングにより推計値を算出(推計方法が異なるため、年度比較に留意)。
※推計値のため、国内客数に対する厳密な内数ではない。

外国客 入域状況

8月は、下地島ー台北路線(8月22日～10月25日)の新規就航等があったことや那覇ー台中路線(8月1日～10月24日)、那覇ー台北路線(8月2日～9月4日)の期間増便があったことから、前年同月を上回った。

トピック ▶【シンガポール】シンガポール航空グループのスクートが那覇ーシンガポール路線(12月15日～)を週3便で新規就航予定。

外国客 国籍別入域状況

区分	R7年度	R6年度	増減数	増減率	構成比
台湾	132,700 人	120,000 人	+ 12,700 人	+10.6%	45.5%
韓国	41,600 人	34,800 人	+ 6,800 人	+19.5%	14.3%
中国本土	51,000 人	27,600 人	+ 23,400 人	+84.8%	17.5%
香港	29,700 人	15,700 人	+ 14,000 人	+89.2%	10.2%
アメリカ	2,800 人	2,100 人	+ 700 人	+33.3%	1.0%
タイ	1,300 人	1,100 人	+ 200 人	+18.2%	0.4%
シンガポール	500 人	900 人	△ 400 人	△44.4%	0.2%
その他	31,800 人	32,800 人	△ 1,000 人	△3.0%	10.9%
合計	291,400 人	235,000 人	+ 56,400 人	+24.0%	100.0%

※「その他」には、海路における乗務員等23,100人を含む。

外国客 空路・海路の国籍別入域状況

区分	空路				海路			
	R7年度	R6年度	増減率	構成比	R7年度	R6年度	増減率	構成比
台湾	97,800 人	62,100 人	+57.5%	48.4%	34,900 人	57,900 人	△39.7%	39.0%
韓国	41,400 人	34,800 人	+19.0%	20.5%	200 人	0 人	皆増	0.2%
中国本土	28,200 人	13,900 人	+102.9%	14.0%	22,800 人	13,700 人	+66.4%	25.5%
香港	23,600 人	15,500 人	+52.3%	11.7%	6,100 人	200 人	+2950.0%	6.8%
アメリカ	2,500 人	1,900 人	+31.6%	1.2%	300 人	200 人	50.0%	0.3%
タイ	1,100 人	1,000 人	+10.0%	0.5%	200 人	100 人	100.0%	0.2%
シンガポール	300 人	800 人	△62.5%	0.1%	200 人	100 人	+100.0%	0.2%
その他	7,100 人	4,300 人	+65.1%	3.5%	24,700 人	28,500 人	△13.3%	27.6%
合計	202,000 人	134,300 人	+50.4%	100.0%	89,400 人	100,700 人	△11.2%	100.0%

※海路の「その他」には、乗務員等23,100人を含む。

